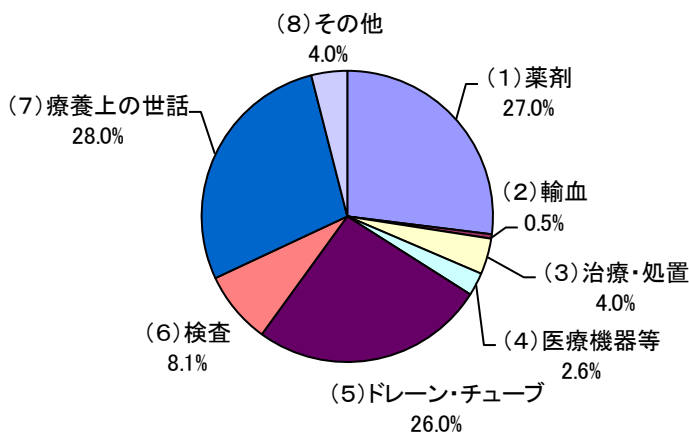


●平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

患者さんに影響があった、あるいはその可能性があった出来事

概要		
項目	件数	%
(1)薬剤	663	27.0
(うち与薬に関するもの)	(576)	(23.4)
(2)輸血	12	0.5
(3)治療・処置	98	4.0
(4)医療機器等	63	2.6
(5)ドレーン・チューブ	639	26.0
(6)検査	198	8.1
(7)療養上の世話	688	28.0
(うち転倒・転落)	(521)	(21.2)
(8)その他	98	4.0
合計	2459	100.0



平成26年度、職員から2459件の出来事報告がありました。与薬に関するものが約2.5割、ドレーン・チューブ類に関するものが約2.5割、転倒・転落が約2割であり、前年度とほぼ同様の結果でした。

職員から報告された重要な事例については類似のインシデントの再発防止のため、関連部署や関連する委員会などと、原因究明や対策について検討(事例分析)しています。

●ふれあいトーク(出前講座)

宝塚市役所市民相談課が企画している「ふれあいトーク」ってご存じですか？

「ふれあいトーク」は私たち宝塚市の職員が市民のみなさんのところへ出向き、登録したテーマについてお話をいたします。医療安全対策室では、「患者さんと共に、安心で安全な医療を」という講座テーマを元に、以下の3つのサブテーマを登録しています。

☆ 実践しよう！患者・市民の医療参加「安全は名前から」

患者確認は安全の第一歩です。宝塚市立病院では、患者さんの取り違え事故防止のために、ご本人の確認方法として患者さんと医療者の協同によるフルネーム(姓と名)確認を実施しています。ご本人確認の実施状況や内容等について、当院での事例紹介を交えてお話しします。

☆ 「困った！手術が受けられない！」予定手術が中止にならないための注意点

予定手術が中止にならないための対策として、宝塚市立病院が取り組んでいる内容や注意点等について、当院での事例紹介を交えてお話しします。

☆ 一冊にまとめて安心、お薬手帳！

患者さんがお薬手帳を一冊にまとめて持っておく。それを診察や入院の度に医療者に見せる。そうすることで患者さんがこれまで服用してきた全てのお薬が把握でき、診療にとっても役立ちます。お薬手帳の活用方法について、当院での事例紹介を交えてお話しします。

これらのテーマを中心に、ご希望に応じて関連のある事柄もお話させていただきます。

平成26年度は「安全は名前から」2回、「お薬手帳」2回のご依頼があり、市民のみなさんと楽しいひとときを過ごさせていただきました。



●医療安全川柳:テーマ「指差呼称(しさこしょう・ゆびさしこしょう)」

毎年、11月25日の医療安全の日を含む日曜から土曜までの1週間は医療安全推進週間となっています。平成26年度の医療安全推進週間は、「指差呼称(しさこしょう・ゆびさしこしょう)」をテーマに医療安全川柳に取り組みました。

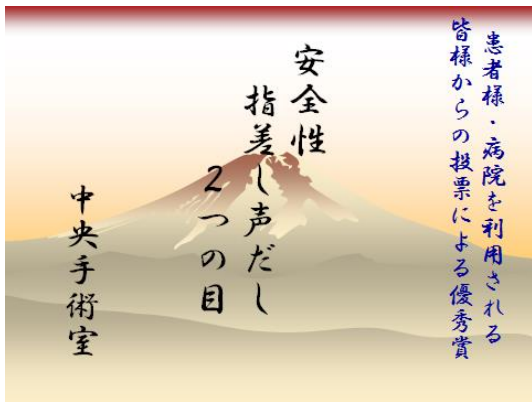
院内33部署から医療安全川柳が投稿され、来院された方々の人気投票などから優秀作品を選びました。

患者様・病院を利用される皆様からの人気投票

優秀賞：第1位 ICU(集中治療室)



優秀賞：第2位 中央手術室



優秀賞：第3位 地域医療室



病院長賞：栄養管理室



医療安全対策室長賞：臨床工学室

